

IT Seminar Beijing

Schedule: 2006.01.18~01.21

2006.01.18 Chubu ⇒Beijing

2006.01.18 18:00-20:00 IT Seminar social gathering

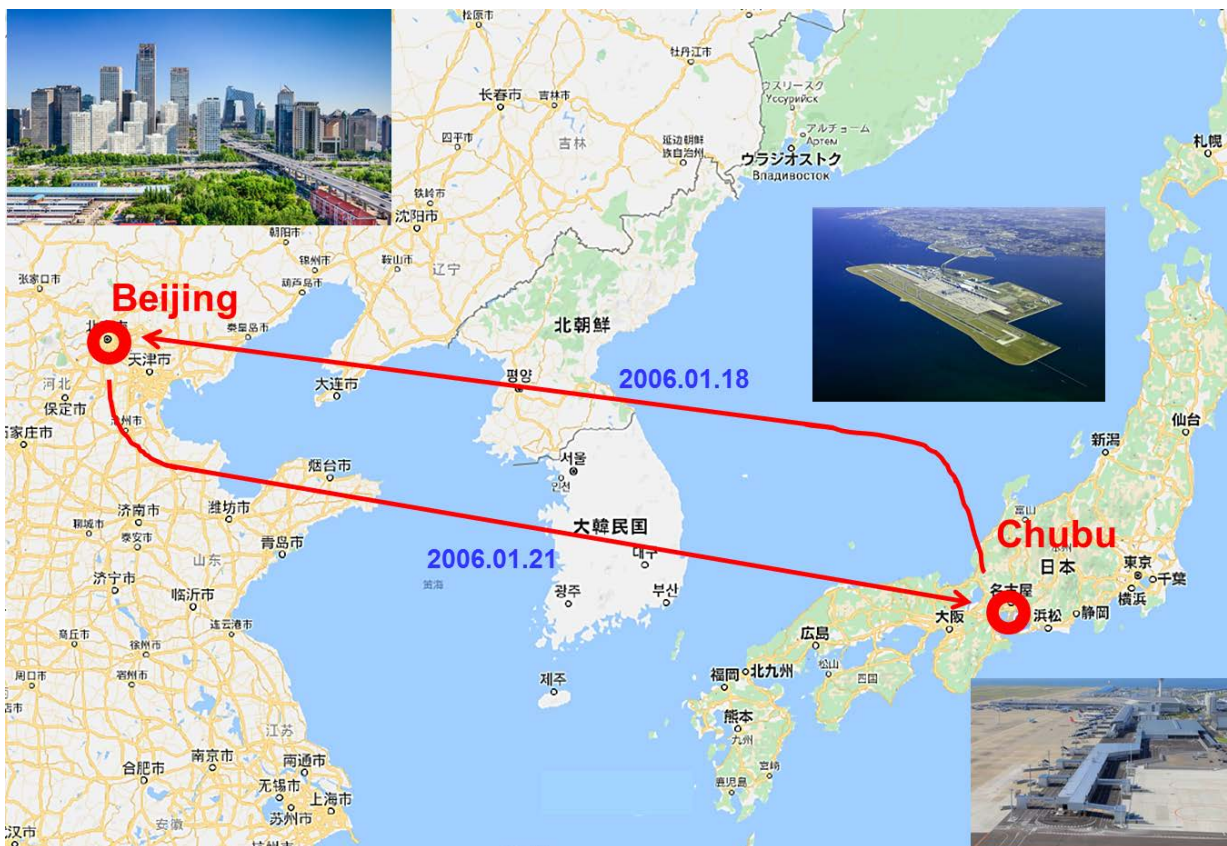
2006.01.19 09:00-17:00 IT Seminar

2006.01.20 10:00-12:00 Meeting with ANCC

2006.01.20 13:00-17:00 Free

2006.01.21 Beijing ⇒Chubu

2006年1月18日~19日の日程で、国際情報化協力センター（CICC: Center of the International Cooperation for Computerization）主催のIT標準化技術交流セミナーが行われた。会場は北京新世紀日航飯店である。RFID分科会の議長として参加した。1月20日にはRFIDに関してANCC(GS1 China)と意見交換した。





**Hotel Nikko
New Century
Beijing**

北京新世纪日航飯店


 hotel nikko
 new century beijing
 北京新世纪日航饭店
 北京市海淀区首都体育馆南路6号
 No. 6 Southern Road Capital Gym, Haidian District, Beijing China
 电话Tel: 86-10-6849 2001

请送我到 Please take me to: _____



1. 长 城	GREAT WALL
2. 故 宫	FORBIDDEN CITY
3. 颐 和 园	SUMMER PALACE
4. 王 府 井	WANG FU JING STREET
5. 天 坛	TEMPLE OF HEAVEN
6. 天安门广场	TIAN AN MEN SQUARE
7. 首都机场	CAPITAL AIRPORT
8. 秀水市场	SILK MARKET
9. 红桥市场	HONGQIAO(PEARL)MARKET
10. 北京展览馆	BEIJING EXHIBITION HALL
11. 国际展览中心	C.I.E.C.
12. 国贸中心	CHINA WORLD TRADE CENTER
13. 二里屯	SAN LI TUN STREET
14. 琉璃厂	LIU LI CHANG CULTURE MARKET





**RFID
Subcommittee**



IT標準化技術交流セミナー全体スケジュール

2005年 1月18日-1月20日

行動予定			
1月16日 (月)	18:10 21:15	JL789	成田→北京(事務局:佐藤・白倉)
1月17日 (火)			事務局 打合せ、準備
1月18日 (水)	10:20 13:25 13:35 9:50 12:15 17:30-18:00 18:00-20:00	JL781 NH905(成田様)	成田→北京 名古屋→北京12:15着(柴田様、寺浦様)チャーター車有 (瀬戸様、上村様、石野様、桑名様、木戸様、三浦様、高橋様、兼谷、江村、 成田様) 空港にCICC北京事務所が10人乗れるマイクロバスを用意しております。 15:30 JETRO北京センター関根様ホテル来訪 空港にCICC北京事務所がチャーター車を用意 日中幹部懇談 CICC主催懇談会(新世紀飯店:宴会場) 開会の辞:日本側CICC兼谷専務 中国側:全国信息技术標準管理委员会主任 楊天行
1月19日 (木)	8:45 8:50 9:00 10:00-10:20 10:20 11:00-12:00	会議室(山東庁)集合 受付 基調講演 (日中逐次通訳) コーヒーブレイク	開会 CICC佐藤 基調講演 瀬戸様 基調講演 成田様 午前中の休憩時間に、会議場で写真撮影をします 基調講演 楊 天行氏 各分科会のテーマ説明 RFID 中国電子技術標準化研究所 王 立達 文書フォーマット CES信息技术研究中心 吳 志剛 Linux 中国電子技術標準化研究所 高 林
	12:00~ 13:30	昼食 (着席形式) 小宴会場	
午後 3分科会	13:30~ 16:30 16:30~ 17:30 17:30	RFID 文書フォーマット Linux 各分科会発表 閉会	小会議室(四川庁) 小会議室(ショウ江庁) 小会議室(江蘇庁) 会議室(山東庁) METI瀬戸様、CICC兼谷 関係機関訪問 北京事務所 曲 職員通訳兼アテンド
1月20日 (金)	8:25	北京発(JL780)	METI瀬戸様、CICC兼谷 空港に2時間前に到着できるよう、当財団北京事務所の車を準備します。 11:25 LH721(成田様)
	12:40 15:10 19:25	成田着 JL782 成田着	空港に2時間前に到着できるよう、当財団北京事務所の車を準備します。 上村様、石野様、桑名様、木戸様、三浦様、高橋様、江村
1月21日 (土)	8:25 12:40 15:25 19:05	北京発(JL780) 成田着 北京発(602) 名古屋着	(桑名様、佐藤、白倉) (柴田、寺浦)

連絡先:

当財団北京事務所:

CICC Beijing Liaison Office, C/O Japan-China Association on Economy and Trade

401 Changfugong Office Bldg., Jia26 Jianguomenwai St. Beijing, 100022 PR China

TEL:+86-10-6514-0643

FAX:+86-10-6514-0644

宿泊先:北京新世紀日航飯店

北京市首都體育館南路6号

6 Tiuyuan Nan Road, Beijing, China

TEL:86-10-68492001

Fax:86-10-68491103

650 RMB+15%サービス(朝食込み)

インターネット:40RMB

2006. 01. 19
新世紀飯店(中国・北京)

IT標準化技術交流セミナー

RFID分科会

議長 柴田 彰

議論内容(Contents of Discussion)

1. RFIDに関する国際標準化の現状と問題点について
Present state and Problem about International standarization of RFID
2. SCMに用いるRFIDエアインターフェイスとタグの開発について
RFID air interface for SCM &development of RFTag
3. SCMに用いるRFIDのデータ構造
RFID data structure for SCM
4. 日中の協力体制について
Co-operation of Japan & China
5. RFID利用の現状把握
Present status of RFID application

1. RFIDに関する国際標準化の現状と問題点について Present state and Problem about International standarization of RFID

1. 1 柴田議長より国際標準化概要説明
 - ・RFIDに関するSC31と他の委員会、各機関との協力関係
 - ・SC31の構成と活動概要
 - ・RFID標準化対象と進捗状況
1. 2 アメリカ主導の標準化について
 - ・EPCの規格化とISOの標準化
 - ・輸送容器の再利用への対応
 - ・今後の標準の改良の努力
 - ・協力していいものにしていく
 - ・データ領域の言語(2バイトコード)

2. SCMに用いるRFIDエアインターフェイスとタグの開発について RFID air interface for SCM &development of RFTag

2. 1 日本から日本の電波法での周波数割り当てについて説明
2. 2 中国から、周波数別の電波法、標準の状況について説明
 - ・特にUHF帯について詳細に説明
2. 3 中国で予定している周波数が適合するように、ISOを修正する必要があるか
2. 4 UHF帯で確保すべきバンド幅について
2. 5 433MHzの開放について
 - ・日本、中国の法規制対応について
 - ・日本での利用検討状況

3. SCMに用いるRFIDのデータ構造 RFID data structure for SCM

3. 1 ユニークコードについて
 - ・ISOデータコードと既存データコード使い分け
3. 2 データコードのISO/IECの状況
3. 3 位置データについて

4. 日中の協力体制について Co-operation of Japan & China

4. 1 標準化協力
 - ・日中交流の継続による標準の改良、反映
 - ・今後とも、コミュニケーションを図っていく
 - ・CICC経由
4. 2 RTLS(位置管理システム)
 - ・2.45G使用で共同歩調の可能性

5. RFID利用の現状把握 Present status of RFID application

5. 1 日本のRFIDマーケット
 - ・市場規模
 - ・周波数別割合
 - ・用途割合
5. 2 日本のRFID応用事例



